

学校運営計画 (4月)			評価 (3月)		
学校運営方針	(教育目標)	次代を担う人間として志を持って意欲的に学び、自律心と思いやりの心を持つとともに、社会の発展に貢献するたくましい人間を育成する。			
	(運営方針)	(1) 社会が求める真の人間力をもった人材の育成 (2) 明確な目標設定とそれを実現するための教科指導・進路指導の充実とコラボレーション (3) 「時を守り、場を清め、礼を正す」を中心とした生徒指導の徹底 (4) 「スポーツの三猪」を中心とした更なる学校全体の活性化と発展 (5) 「チーム三猪」の合い言葉のもと、生徒と職員、PTA、同窓会及び地域が一体となった教育活動の推進 (6) 創立100周年に向けた、新たな魅力ある学校づくりと積極的な広報活動の推進 (7) 「オンリー三猪」=ここでしかない教育活動の推進			
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
黙想指導・朝読書・挨拶の徹底、教室の美化の充実など、授業規律、授業環境の整備は進み、生徒達は落ち着いた学習環境の中で授業に臨んでいる。また、地域の行事にもボランティアとして参加し、地域に愛され、地域密着の学校として評価を得ている。ホームページの刷新で情報発信力も飛躍的に向上した。キャリア教育をさらに推進し、本校としての特色化を図り広報に努め、志願者を増加させることが課題である。	(1) 学力向上 (授業改善とわかる授業の実践)	・校内研修や公開授業の充実を図り、校外研修の奨励に努める。 ・アクティブラーニング等の授業改善、言語活動やICTの活用等により生徒の学習意欲を高める。			
	(2) 豊かな心を持った自立した生徒の育成 (時間厳守、清掃の徹底、挨拶の励行)	・基本的な生活習慣の充実を図り、主体的に活動できる生徒を育成する。 ・自尊感情の醸成と人権教育を推進する。			
	(3) キャリア教育の充実 (3年間を見通して具体的、系統的に実践)	・一人ひとりの生徒の進路実現を目指すとともに、教育活動全体を通してキャリア教育を充実させる。			
	(4) 魅力ある学校づくり (学校行事、生徒会活動、ボランティア活動の充実)	・生徒会活動を活性化する。 ・「オンリー三猪」を推進し、本校の特色を図る。			
	(5) 「スポーツの三猪」の充実 (「する・観る・支える」生徒の育成)	・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上と学校全体の充実振興に努める。 ・健康教育と安全教育を推進する。			
	(6) 広報活動の充実と推進 (広報部の充実と学校全体の連携)	・三猪ニュース、三猪速報や学校のホームページを充実させ、本校の教育活動の積極的な広報に努める。 ・中学校訪問を活発に行い学校全体で生徒募集に努める。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題	
特色ある学校づくり	地域に根ざした学校づくりをさらに充実推進する。	地域の行事に積極的に参加するとともに、ボランティア活動を展開する。 「チーム三猪」をキーワードに生徒・職員が一丸となり学校活性化に取組む。 柏葉祭(体育祭・文化祭)をPTAや地域に広報し、一体となって成功させる。			
	「スポーツの三猪」を中心とした魅力ある学校づくりを進める。	する・観る・支える「スポーツの三猪」、「オンリー三猪」を推進し、スポーツ教室等を効果的に展開する。 魅力ある学校づくりを研究・推進する。			
教務研修部	新しい指導法の研究を通じた授業の充実	各教科でアクティブ・ラーニングを活用した指導法や教材について研究する。			
		全教科・科目でアクティブ・ラーニングを活用した効果的な授業が提供できるよう、授業研究に取り組み、全職員がアクティブ・ラーニングを活用した授業に対する理解を深める。			
		学習に対する興味・関心を高めるために、観点別評価に基づく授業改善に努め、各科目において授業満足度80%以上を目指す。			
		家庭学習時間の工夫で家庭学習を充実させ、1日あたり60分以上の学習時間の定着を目指す。			
研修・研究	教師の指導力向上を目指した研修を推進する。	日常の授業の予習・復習に対する指導、考査問題や学習課題を絡めた工夫を通して、生徒の学力向上を図る。			
		各分掌と連携し、SNS利用に関する指導の徹底およびICTの推進を図る研修を含めた職員研修会を年間4回以上実施する。また、相互授業参観や研究授業大会を実施する。 1年間の各教科・分掌の研究や学校行事等の成果を研究紀要にまとめる。			
諸行事の計画と円滑な実施	諸行事について綿密な計画と円滑な実施を図り、次年度の円滑な実施に向けた準備に努める。	早い段階から具体的な実施計画を提示できるように努め、他分掌との連携を密に図る。			
		各学校行事の事後アンケートを詳細にまとめ、申し送り事項として次年度の行事計画に効果的に反映できるようにする。			

生徒保健部 生徒会活動やボランティア活動の推進	生徒会行事等の企画を刷新し、魅力ある三瀬高校の活動をアピールする。	生徒会・各種委員会生徒を主体的に活動させ、魅力ある学校行事(地域中学生が参加する行事含む)を推進する。				
		「地域の中の学校」として、各学期の地域ボランティア活動や地域行事(城島まつり、酒蔵開き等)に積極的に参加し、地域に根ざした学校づくりを行う。				
活力ある学校の雰囲気作り	挨拶の励行を通して、良好な人間関係づくりを目指す。	週単位で部活動や生徒会・各種委員会による朝の挨拶運動を行い、活気ある学校づくりを行う。				
	部活動の推進を図り、実績を上げる。	1年生の全員部活動加入をもとに部活動加入率80%以上を継続し、部活動の充実並びに更なる活性化を図る。				
交通安全指導の徹底	登下校中の事故防止並びに交通安全に対する意識・態度を向上させる。	P T A生活委員会と連携し、登下校指導(3回)や郊外補導(2回)を推進する。通学マナー、危険箇所等の情報を共有し、生徒の交通事故防止に努める。				
		交通安全教室(講話・実技講習含む)を開催する。また、自転車及び原動バイクの安全点検等を通じて、生徒の交通安全に対する意識を喚起する。				
保健	生徒保健委員会を充実させる。	「保健だより」の内容を創意工夫し健康や安全への関心を促す。(月1回発行) 全校集会や学年集会で健康管理について注意を促したり、校外研修会の内容を発信したりする。				
	不規則な生活習慣による、保健室利用の生徒への対策を行う。	保健室での休息1時間(原則)を徹底させる。 検診等の結果を分析し生徒の健康の保持増進に務める。				
健康・安全教育	いじめ、不応生徒の早期発見、早期対応を行う。	教育相談委員会を開き、生徒の悩みや相談を受け入れる体制をつくる。(毎月1回) 保健室利用状況を、毎日関係職員に連絡することによって、いじめや不応生徒の早期発見・早期対応を図る。				
		学年会を通して、全職員に保健室を利用する生徒の状況の情報を提供し、共通理解を図る。				
環境教育	生徒美化委員会を充実させる。	生徒会や美化委員会と協力して、トイレの利用の仕方や食べ歩き禁止などマナー向上について啓発する。 美化委員による美化コンクールを行い環境整備と美化の徹底を図る。(学期に1回)				
	清掃活動の積極的な取組を行う。	破損している掃除道具の処分や不用の道具を整理する。ゴミの分別(食堂のゴミ)と持ち帰りを徹底させる。 日々の清掃をきちんと行う習慣をつける。大掃除に重点目標を設定する。				
進路キャリア教育部	資格取得を推進する。	1年に1回以上、全員受験を義務づけ、全体で300以上の合格を達成する。 資格試験前に、対策講座を課外の時間を使って行う。				
進学指導	課外授業を充実させる。	習熟度別課外に公務員課外を新たに加え、生徒の実態とニーズに合わせて行う。				
	模擬試験、進研F I N Eシステムを活用する。	模擬試験の結果分析と他校比較を共有化する。				
就職指導	国公立大学、西南学院大学、福岡大学等4年生大学に総合格数60名以上合格を目指す。	・必要に応じて個別指導を実施する。 ・部活動実績を利用して受験させる。				
	内定率100%を目指す。	12月までに全員の受験を完了し、11年連続100%を達成する。				
キャリア教育	インターンシップの実施と充実させる。	・インターンシップの参加人数を増やす。 ・3年生の受験報告、2年生のインターンシップ報告会を実施する。				
	言語運用力養成とマナー力向上を図る。	外部講師によるマナー講座を実施し、課外では一般教養充実講座を実施する。				
学習指導	3年間のキャリア教育計画の実行と中身の充実を図る。	計画表の中身を事前に学年内で共有し、組織的に実行する。 進路学習後には必ず感想文を書かせ、活字による表現力養成を行う。				
	進路のしおりを活用させる。	必要に応じて活用を促し、各進路学習の理解を深めさせる。				
学年統括	学習指導の充実を図る。	生徒の主体的な学習活動を導く学習指導を行い、生徒に進路希望を達成できる力をつける。				
	3年間を見通した学習指導計画を作成する。	各学年・各教科において生徒の学習状況の把握と達成目標を設定し、計画的な学習をさせるとともに、評価をきちんとすることで、生徒の学力向上を図る。				
生徒指導	生徒の主体的活動の推進する。	挨拶、清掃、行事など生徒が主体的にできるように支援し、達成感や成就感を味わわせる。				
	規範意識を向上させる。	学校内外における規範意識向上のため、ホームルーム活動や学年集会を活用するだけでなく、学校生活全般で望ましい態度が育成できるよう教師間で共通の指導を行う。				
進路指導	進路研究の充実を図る。	生徒の進路に関するデータ分析や進路先の特徴を把握し、よりよい進路選択と進路実績の向上が図れるよう、各学年の連携を深める。				
	キャリア教育を充実させる。	課外授業の充実、総学やガイダンスの活用を中心とした進路学習の充実をおとして、計画的にキャリア教育を実施する。				
学年間の連携	学年主任間の連携を図る。	各学年の課題を共有化し、問題解決の方策を検討し、実行していく。				

広報部	三瀬高校の魅力と特徴が伝わる広報誌を作成する。	普通科一般の魅力と特徴が伝わる学校案内を作成する。			
		毎月の本校の教育活動が具体的に伝わる三瀬ニュースを、定期的に作成する。			
		部活動の活躍などの不定期なトピックスを伝える三瀬速報を、タイムリーに作成する。			
広報活動の活性化	ホームページを充実させる。	各部担当者からの情報アップのシステムを実働させ、HPの更新につなげる。			
		広報部のHP担当者によるHP更新状況のチェックを、1週間に一度は実施する。			
	保護者や同窓会と連携した広報活動を実施する。	保護者や同窓会の協力を得ることで、広報誌の配布や掲示する場を広げる。			
中学校対策の強化	中学校との信頼関係の構築をめざした中学校訪問を実施する。	毎月1度は広報誌等を持って中学校を訪問し、中学校教員との信頼関係を築く。			
		訪問先の中学校出身の生徒の情報を具体的に伝え、本校のきめ細やかな指導を中学校側に理解してもらう。			
	中学校との信頼関係の構築をめざした中学校訪問を実施する。	毎月1度は広報誌等を持って中学校を訪問し、中学校教員との信頼関係を築く。			
		訪問先の中学校出身の生徒の情報を具体的に伝え、本校のきめ細やかな指導を中学校側に理解してもらう。			
報道機関への取材依頼の強化	中学生に三瀬高校の良さを知ってもらう。	進路相談事業や中学生体験入学で本校生徒の活躍の場を増やし、本校の明るさ、雰囲気の良いさを中学生に感じてもらう。			
		本校の学校行事に中学生を招待し、本校の魅力を中学生が体感する場を作る。			
	報道機関の力を広報活用に活用する。	報道機関への取材依頼の回数を増やし、また、依頼時期を早くする。			
スポーツ文化コース	オンリー三瀬を実現するための魅力開発を行う。	生徒主体のスポーツ文化コース集会を月1回行い、学校のリーダーを育成していく。			
魅力開発	ボランティアなど地域との連携を図る。	修学旅行でのスポーツ交流を成功させ、広報の一助とする。			
		競技会ボランティアなど「支えるスポーツ」を経験させ、職業観を養うとともに地域へ積極的にアピールしていく。			
競技力向上	重点6競技の実績向上を図り、「スポーツの三瀬」を県内外にアピールする。	全国大会30名・九州大会60名以上の出場を果たすとともに、チーム競技の実績向上を図る。			
		スポーツ文化コース設置校として誇れる施設設備の充実を図っていく。			
	生徒の体力強化を組織的に行う。	各部とも連携・協力し、組織的・計画的な体力向上を図っていく。			
進路実現	生徒の意向にそった進路保障を実現させる。	各部顧問が協力し、三年生の意向にそった進路実現を目指す。			
		生徒の学力向上を見据えた模擬試験および課外の方策を、学年・教務・進路と検討し再編する。			
生徒確保	組織的・計画的な広報活動を実施する。	中学校との連携強化を推進するため、中体連大会視察を密に行う。			
		各部ともホームページ更新を確実にし、最新の情報を配信していく。			
		近隣中学校や地域へのサポート事業を積極的に推進していく。			